

受付番号： 2017-1-237

課題名：高齡・肥満・合併症により子宮体癌縮小手術を施行した症例の予後解析

### 1. 研究の対象

2007年1月～2012年12月の期間に、当院で子宮体癌と診断され初回治療において手術を受けた方

### 2. 研究目的・方法

子宮体癌の治療は手術が第一選択であり、子宮全摘術に加え骨盤・傍大動脈リンパ節郭清が標準手術として推奨されている。リンパ節郭清の意義は進行期決定であり、再発高リスク群の予後改善に貢献するという報告があるものの、治療的意義は確立していない。またリンパ節郭清によりリンパ浮腫、イレウスなどの合併症が発生し得るため、高齡、肥満、合併症を有する患者ではリンパ節郭清を省略する縮小手術が考慮される。本研究では、標準手術と縮小手術を施行した症例の予後を後方視的に解析し、高齡、肥満、合併症を有する患者の縮小手術の妥当性について検討する。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、病理学的所見、有害事象等の発生状況、生存期間 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

該当なし

### 5. 研究組織

該当なし

### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：新倉 仁 准教授  
東北大学婦人科学分野

東北大学医学部 産科学婦人科学教室  
〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1  
TEL 022-717-7251 FAX 022-717-7258  
e-mail : ob-gy@med.tohoku.ac.jp

#### ◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

#### ※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

#### ◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

#### ※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合